

第5回大学博物館等協議会実務担当者会議議事要録

日 時：平成22年6月24日(木) 16:20～17:10

場 所：東北大学青葉山キャンパス 青葉記念会館4階大研修室

出席者：北海道大学総合博物館、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園、北海道大学理学・生命科学事務部、秋田大学工学資源学部附属鉱業博物館、岩手大学ミュージアム、東北大学総合学術博物館、山形大学附属博物館、新潟大学学術情報部、新潟大学旭町学術資料展示館、金沢大学資料館、金沢大学理工研究域、富山大学民族薬物資料館、東京大学総合研究博物館、東京大学研究推進部、国立科学博物館、東京藝術大学大学美術館、静岡大学キャンパスミュージアム、静岡大学電子工学研究所、名古屋大学博物館、京都大学総合博物館、大阪大学総合学術博物館、国立民族学博物館文化資源研究センター、広島大学総合博物館、広島大学学術室学術推進グループ、山口大学・大学情報機構メディア基盤センター、山口大学情報環境部、香川大学博物館、愛媛大学ミュージアム、宮崎大学農学部附属農業博物館、鹿児島大学総合研究博物館

1. 議 事

議事は、当番校である東北大学の佐々木 理准教授を議長として進められた。

議題1 大学博物館 巡回展について

大学博物館巡回展昨年度WG委員長である薩摩雅登・東京藝術大学教授から、これまでの経緯と企画案について配布資料をもとに説明があった。具体的に企画案1、2、3が提示され、これらをめぐってさまざまな意見交換が行われた後、その他のアイデアがあれば薩摩まで連絡すること、また、今後は企画に関連する資料情報の収集方法を考案する段階へと議論を進めることとした。収集方法のたたき台は追って連絡することになった。

議題2 放射性同位体元素等に関する一斉点検について

議長から口頭により東北大学における現状の簡潔な報告があり、上記点検について各館への注意が促された。

議題3 その他

(1) 「博物館に関する科目」の変更について

同日に文部科学省生涯学習政策局社会教育課企画官・岩佐敬昭氏より講演があった上記事項について、議長から具体的提案があればこの場で検討したい旨の提案があり、東京藝術大学より、現状の学芸員養成課程には「制度疲労」があり、同課程の教育には「ミュージアム」に籍を置く者をおいて他にないであろうとの問題提起があった。これに対して国立科学博物館から、科学教育の振興という観点から支援の枠組みを提案できるかもしれないとの発言があった。議長より、この問題については今後秋頃を下限として、情報を交換

する仕組みを作っておくのがよいだらうとの提案があった。

2. 質問等

(1) 議事終了後、展示目録等の販売ノウハウを知りたい旨の質問があったが、質問者が個別に情報収集を行うことになった。

(2) 前回の実務担当者会議議事要旨(案)が簡潔すぎるのではないかとの質問に対して、議長より、これは議論の再現性よりも継続性を重視するものであるとの回答があり、これを(案)のままとすることになった。

以 上